

日本史授業プリント近代2 1 (093) 明治文化 (2)

2年 組 番 _____

明治の思想

※仏教界にも革新運動 <例> 1 島地黙雷 (浄土真宗 欧州を視察)、井上円了、清沢満之、河口慧海

2 啓蒙思想の紹介 (功利主義・天賦人權論・社会進化論) 明治10年代まで (→近代9)

→ 4 国権 …国家の独立維持や対外膨張(=国権)を重視 ナショナリズム 明治20年代以降

背景 { 条約改正の難航…不平等条約への反発 政府の欧化主義政策(鹿鳴館外交など)への反発
対外的緊張…朝鮮問題(甲申事変など)・日清戦争

(1 a) 5 平民主義…雑誌『6 国民之友』(7 民友社 1887～)



政府の欧化主義を貴族的として批判 生活の向上など 8 平民的欧化主義を主張

9 徳富蘇峰、竹越与三郎、山路愛山ら

(1 b) 10 国粹(保存)主義…雑誌『11 日本人』(12 政教社 1888～)

欧米文化の模倣を批判 日本古来の伝統や文化を強調(13 近代的民族主義)

14 三宅雪嶺、志賀重昂(『日本風景論』)、15 杉浦重剛、16 島地黙雷、井上円了ら

15 国民主義…新聞『16 日本』(日本新聞社1889.2.11.～)中心は17 陸羯南

表面的な欧化政策に反対 国家の独立や国民的統一を重視 三宅雪嶺、正岡子規ら

日清戦争 → 18 徳富蘇峰も対外膨張論へ変化

(2) 19 日本主義…20 高山樗牛(雑誌『21 太陽』(1895～)主幹:小説『瀧口入道』)中心

欧米文化(特にキリスト教)の排撃 天皇制を中核 ほかに井上哲治郎ら

日露戦争 → 個人主義的傾向が強まる → 22 戊申証書(1908)…政府は勤労と倭約を強調

ジャーナリズム ※ 24 本木昌造による鉛製活字印刷(1869～)

25 大新聞(政治評論中心)と26 小新聞(娯楽面を重視) ※『27 官報』…政府の公報

新聞 <例> 28 横浜毎日新聞(1870.初の日刊新聞) 29 郵便報知新聞(1872.改進黨系)

30 東京日日新聞(1872.政府御用新聞) 31 朝野新聞(1874.自由民権派 成島柳北社長)

32 朝日新聞(1879.大阪で村上竜平が創刊 のち東京朝日と大阪朝日へ)

33 読売新聞(1874.子安峻) 34 時事新報(1882.福沢が創刊 報道重視)

大阪毎日新聞(1888) 国民新聞(1890.徳富蘇峰) 二六新報(1893) 都新聞

雑誌 <例> 35 丸々珍聞(風刺 1877) 36 女学雑誌(1885.巖本善治) 少年世界(1895) 風俗画報(1899)、

37 中央公論(1899.滝田樗陰 →大正デモクラシーの中心)

【時代傾向問題に挑戦】<センター2016年A・B追試験より>

I ②三宅雪嶺らが、政府の欧化主義を批判して、雑誌『日本人』を創刊した。

II ③政府が小学校の国定教科書制度を実施し、国民の思想・教育に対する統制が強まった。

III ①明六社のメンバーが、『明六雑誌』を発行して、啓蒙思想の普及につとめた。

近代美術

洋画の誕生 36 高橋由一 (ゆいち) … 37 ワグマン [英] に師事 日本近代洋画の開拓者 「鮭」 (1877頃)

39 工部美術学校 設立 (1876) … 西洋美術を移植 外国人教師 (主に 40 イタリア)

41 フォンタネージ (絵画)、42 ラグーザ (彫刻) ※ 43 キヨソネ (銅版画) は大蔵省紙幣寮

→ 44 浅井忠 (「収穫」「春畝」など) ら育成

→ 閉鎖 (1883) … 伝統美術育成へ (古美術の再評価) → 洋画の衰退

日本画復興 46 東京美術学校 設立 (1887) ※ 西洋画科なし (のち設置) → 東京芸大 (1949)

47 フェノロサ [米]、48 岡倉天心 の尽力 ※ 法隆寺夢殿救世観音像の「発見」

49 日本美術院 (1898) … 天心ら 在野の美術団体 → 1906年茨城県五浦へ → 衰退

<例> 50 狩野芳崖 (かのうぼうえい) 「悲母観音」、52 橋本雅邦 (がほん) 「竜虎図」、53 横山大観 「無我」、

54 菱田春草 「落葉」「黒き猫」、55 下村観山 「大原御幸」、56 竹内栖鳳 「アレ タ立に」

洋画の再興 57 明治美術会 結成 (1889) … 浅井忠ら 日本初の洋画団体 ~1901

58 白馬会 独立 (1896) … 61 フランス印象派 の影響 62 外光派 (明るい色彩)

解散 <例> 63 黒田清輝 (せいき) 「湖畔」「読書」、65 青木繁 「海の幸」

67 藤島武二 「天平の面影」「蝶」、68 久米桂一郎 「裸婦」、

69 和田英作 「渡頭の夕暮」、70 和田三造 「南風」、71 赤松麟作 「夜汽車」

72 太平洋画会 (1902) … 満谷国四郎ら 白馬会と2大団体 外光派に対し 73 脂派

彫刻 伝統的木彫と西洋の彫塑が対立・競合

<例> 74 高村光雲 (こうむん) 「老猿」、76 竹内久一 「伎芸天像」、77 新海竹太郎 「ゆあみ」、

78 荻原守衛 (おぎわらもりゑ) (礫山) (ロダンに師事) 「女」「坑夫」 80 朝倉文夫 「墓守」 長沼守敬「老夫」

☆ 81 文展 (82 文部省美術展覧会) 開設 (1907) … 日本画・洋画・彫刻 共栄をめざす発表の場

建築 83 コンドル ([英]) … 84 鹿鳴館・ニコライ堂・旧岩崎邸

→ 弟子 85 辰野金吾 (86 東京駅、日本銀行本店)、87 片山東熊 (88 赤坂離宮(迎賓館)、京都・奈良国立博物館)

音楽 洋楽の採用 <例> 軍楽隊の結成 (1869)

89 音楽取調掛 の設置 (1879) … 90 メーソン [米] ・ 91 伊沢修二 (いざわしゅうじ) → 92 唱歌 を作成

↳ 93 東京音楽学校 (1887) … 94 滝廉太郎 (「荒城の月」「花」など) ら → 東京芸大

95 演歌 … 民権運動の壮士が時事を演説がわりに街頭で歌ったことから

浪花節(浪曲) … 三味線に合わせた語り物

日本史授業プリント近代2 1 (093) 明治文化 (2)

2年 組 番 _____

明治の思想

※仏教界にも革新運動 <例>1 _____ (浄土真宗 欧州を視察)、井上円了、清沢満之、河口慧海

2 啓蒙思想の紹介 (功利主義・天賦人權論・社会進化論) 明治10年代まで (→近代9)

→4 _____ …国家の独立維持や対外膨張(=国権)を重視 ナショナリズム 明治20年代以降

背景	}	条約改正の難航…不平等条約への反発 政府の欧化主義政策(鹿鳴館外交など)への反発
		対外的緊張…朝鮮問題(甲申事変など)・日清戦争

(1 a) 5 平民主義…雑誌『6 _____』(7 民友社 1887～)



政府の欧化主義を貴族的として批判 生活の向上など8 平民的欧化主義を主張

9 _____、竹越与三郎、山路愛山ら

(1 b) 10 国粹(保存)主義…雑誌『11 _____』(12 政教社 1888～)

欧米文化の模倣を批判 日本古来の伝統や文化を強調(13 近代的民族主義)

14 _____、志賀重昂(『日本風景論』)、杉浦重剛、島地黙雷、井上円了ら

15 国民主義…新聞『16 _____』(日本新聞社1889.2.11.～) 中心は17 _____

表面的な欧化政策に反対 国家の独立や国民的統一を重視 三宅雪嶺、正岡子規ら

日清戦争 → 18 徳富蘇峰も対外膨張論へ変化

(2) 19 日本主義…高山樗牛(雑誌『21 _____』(1895～)主幹:小説『瀧口入道』)中心

欧米文化(特にキリスト教)の排撃 天皇制を中核 ほかに井上哲治郎ら

日露戦争 → 個人主義的傾向が強まる → 22 戊申証書(1908)…政府は勤労と倭約を強調

ジャーナリズム ※ 24 本木昌造による鉛製活字印刷(1869～)

25 大新聞(政治評論中心)と26 小新聞(娯楽面を重視) ※ 『27 官報』…政府の公報

新聞 <例>28 横浜毎日新聞(1870.初の日刊新聞) 29 郵便報知新聞(1872.改進黨系)

30 東京日日新聞(1872.政府御用新聞) 31 朝野新聞(1874.自由民権派 成島柳北社長)

32 朝日新聞(1879.大阪で村上竜平が創刊 のち東京朝日と大阪朝日へ)

33 読売新聞(1874.子安峻) 34 時事新報(1882.福沢が創刊 報道重視)

大阪毎日新聞(1888) 国民新聞(1890.徳富蘇峰) 二六新報(1893) 都新聞

雑誌 <例> 35 丸々珍聞(風刺 1877) 女学雑誌(1885.巖本善治) 少年世界(1895) 風俗画報(1899)、

35 中央公論(1899.滝田樗陰 →大正デモクラシーの中心)

【時代順問題に挑戦】<センター2016年A・B追試験より>

- | | |
|-----|---|
| I | 三宅雪嶺らが、政府の欧化主義を批判して、雑誌『日本人』を創刊した。 |
| II | 政府が小学校の国定教科書制度を実施し、国民の思想・教育に対する統制が強まった。 |
| III | 明六社のメンバーが、『明六雑誌』を発行して、啓蒙思想の普及につとめた。 |

近代美術

洋画の誕生 36高橋由一^{ゆいち}…37ワグマン[英]に師事 日本近代洋画の開拓者 「38鮎」(1877頃)

39 _____ 設立(1876)…西洋美術を移植 外国人教師(主に40イタリア)
41フォンタネージ(絵画)、42ラグーザ(彫刻) ※43キヨソネ(銅版画)は大蔵省紙幣寮
→44 _____ (「45収穫」「春畝」など)ら育成
→閉鎖(1883)…伝統美術育成へ(古美術の再評価) →洋画の衰退

日本画復興 46 _____ 設立(1887) ※西洋画科なし(のち設置) →東京芸大(1949)

47フェノロサ[米]、48 _____ の尽力 ※法隆寺夢殿救世観音像の「発見」
49 _____ (1898)…天心ら 在野の美術団体 →1906年茨城県五浦^{いづら}へ →衰退
<例>50 _____ 「51悲母観音」、52橋本雅邦^{がほう}「竜虎図」、53横山大観「無我」、
54菱田春草「落葉」「黒き猫」、55下村観山「大原御幸」、56竹内栖鳳「アレ タ立に」

洋画の再興 57 _____ 結成(1889)…浅井忠ら 日本初の洋画団体 ~1901

58 _____ 独立(1896)…61フランス印象派の影響 62外光派(明るい色彩)
解 散
<例> 63 _____ 「64湖畔」「読書」、65青木繁「66海の幸」
67藤島武二^{たけじ}「天平の面影」「蝶」、68久米桂一郎^{らふ}「裸婦」、
69和田英作^{とどう}「渡頭の夕暮」、70和田三造「南風」、71赤松麟作^{りんさく}「夜汽車」
72太平洋画会(1902)…満谷国四郎^{みつたに} 白馬会と2大団体 外光派に対し73脂派^{やには}

彫刻 伝統的木彫と西洋の彫塑が対立・競合

<例> 74 _____ 「75老猿」、76竹内久一^{きゆういち}「伎芸天像」、77新海竹太郎「ゆあみ」、
78荻原守衛^{おぎわらもりえ}(礫山^{ろくざん}) (ロダンに師事)「79女」「坑夫」 80朝倉文夫「墓守」 長沼守敬^{もりよし}「老夫」

☆81 _____ (82文部省美術展覧会)開設(1907)…日本画・洋画・彫刻 共栄をめざす発表の場

建築 83コンドル([英])…84鹿鳴館・ニコライ堂・旧岩崎邸

→弟子 85辰野金吾(86東京駅、日本銀行本店)、87片山東熊^{とうくま}(88赤坂離宮(迎賓館)、京都・奈良国立博物館)

音楽 洋楽の採用 <例> 軍楽隊の結成(1869)

89音楽取調掛^{とりしらべがかり}の設置(1879)…90メーソン[米]・91 _____ →92唱歌を作成

↳93東京音楽学校(1887)…94滝廉太郎(「荒城の月」「花」など)ら →東京芸大

95演歌…民権運動の壮士が時事を演説がわりに街頭で歌ったことから

浪花節(浪曲)…三味線に合わせた語り物